

無料ガイドツアー  
申込方法

申込は申込期間内に市まちなかにぎわい課まで電話。先着順。  
＜申込時のご確認内容＞希望日、申込代表者の氏名・電話番号(自宅と携帯)、その他参加者全員の氏名。

## 無料ガイドツアー開催日

2017年10月28日(土)コース①  
2018年3月24日(土)コース②  
4月21日(土)コース③

## 伊丹市文化財ボランティアの会



※P3参照

私たちが  
ご案内します!1 伊丹郷町と  
長寿蔵をたずねる

約3.3km 約70分 約158kcal

スタート 阪急伊丹駅 5分 ①三軒寺前広場 10分  
②猪名野神社 10分 ③有岡城跡 5分 ④荒村寺 5分  
⑤本泉寺 10分 ⑥墨染寺 10分 ⑦みやのまえ文化の郷 5分  
⑧白雪ブルワリービレッジ長寿蔵 無料ガイドツアーではお酒の試飲・購入ができます 10分  
ゴール 阪急伊丹駅



## 3 有岡城跡

天正6年(1578)に荒木村重が主君織田信長に謀反を起こして戦いの舞台となり黒田官兵衛が約1年間幽閉されたお城です。国史跡に指定されています。



## 8 白雪ブルワリービレッジ長寿蔵

「清酒発祥の地、伊丹」の名にふさわしく江戸期の酒蔵を改造した建物。ベルギー風地ビール、製造過程の見学、造りたてのビールと日本酒、酒粕を使った料理やベルギー風料理が味わえるレストラン、ベルギービールや日本酒を中心に量り売り生酒などの購入、昔の酒造り道具の展示や3Dアートなどがあるミュージアムが楽しめます。  
☎072-773-1111

2 伊丹郷町と伊丹老松  
酒造をたずねる

約3.5km 約60分 約189kcal

無料ガイドツアーでは伊丹老松酒造の「日本酒入門講座」、お酒の試飲・購入もお楽しみ頂けます!  
スタート 阪急伊丹駅 10分 ①猪名野神社 10分 ②有岡城跡 5分  
③荒村寺 5分 ④本泉寺 10分 ⑤墨染寺 10分  
⑥みやのまえ文化の郷 無料ガイドツアーではお酒の試飲・購入ができます(実施) 5分  
⑦伊丹老松酒造直売所 無料ガイドツアーではお酒の試飲・購入ができます 5分  
ゴール 阪急伊丹駅



## 1 猪名野神社

江戸時代の伊丹郷町他の氏神で、「野宮」等と呼ばれていました。現社名は、明治時代になってからのものです。有岡城北端の「きしの砦」跡とされています(国史跡)。

## 7 伊丹老松酒造直売所

御免酒「老松」のお酒や酒粕入りの商品がそろった直売所。地下水「老松丹水」は、水道水よりやや硬度が高く、地下95mから汲み出した水は、水質検査を行っており、安心して飲むことができます。(保存水には適していませんのでお早めにご使用ください。)

## 3 伊丹緑道と多田街道を散策

約5.0km 約90分 約284kcal

スタート 阪急伊丹駅 10分 ①猪名野神社 5分 ②伊丹緑道 5分 ③白洲屋敷跡 15分  
④辻の碑(多田街道・水車小屋) 20分 ⑤緑ヶ丘公園(鴻臚館) 30分  
⑥みやのまえ文化の郷 10分  
ゴール 阪急伊丹駅



## 2 伊丹緑道

猪名野神社から国道171号線まで続く約1.4kmの遊歩道で散策道として親しまれています。



## 6 みやのまえ文化の郷

伊丹の歴史文化を体感できる一大文化ゾーン。美術館、工芸センター、伊丹郷町館(重要文化財 旧岡田家住宅・酒蔵 県指定文化財 旧石橋家住宅 新町家)、(公財)神楽文庫が集積。各館で展覧会やイベントなどのほか、江戸時代の商家や酒蔵の文化財と日本庭園を楽しめます。  
☎072-772-5959(伊丹郷町館) 10:00～18:00(入館は17:30まで) 休館日は月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、入場無料(ただし美術館、神楽文庫は有料)

## 4 歴史とバラの散歩路

約8.7km 約160分 約470kcal 健脚

スタート 阪急伊丹駅 20分 ①旧西国街道 25分 ②昆陽池公園 30分  
③鴻池神社 5分 ④慈眼寺 5分 ⑤鴻池稲荷祠 20分  
⑥容住寺 10分 ⑦天日神社 15分 ⑧荒牧バラ公園 30分  
ゴール 阪急山本駅



## 2 昆陽池公園

奈良時代に行基が築造した「昆陽上池」です。関西屈指の渡り鳥の飛来地です。



## 8 荒牧バラ公園

世界のバラ約250種1万本が咲き乱れます。開花時期は5～6月と10～11月です。

## 有岡城跡 (ありおかじょうせき)

戦国時代末期の1574年(天正2)、武将・荒木村重が伊丹氏に代わって伊丹城主となり、大改築を施したのが有岡城です。村重が城主だった6年間(1574年～1579年)のみ有岡城と称され、東西0.8キロ・南北1.7キロの広さで、侍町、町屋を堀と土塁で囲んだ日本最古級の惣構(そうがまえ)の城でした。

有岡城を訪れたポルトガル人宣教師のルイス・フロイスが「甚だ壮大にして見事なる城」と書き残すほどの名城でしたが、1578年(天正6)に村重が突如、主君・織田信長に反旗を翻し、籠城しました。その「有岡城の戦い」のときに黒田官兵衛が村重の説得に訪れ、落城するまでの約1年間、幽閉されました。



# 伊丹市

いたみし

## 清酒発祥の地、伊丹!

伊丹市は清酒発祥の地です。伊丹市の鴻池にある碑文には、「1600年(慶長5)、大阪の豪商・鴻池家の始祖である新六幸元が双白澄酒もろはくすみざけを造ることに成功し、それによって財をなした」と残されています。

清酒の醸造に成功し、一大消費地の江戸で販売することで「丹釀」と呼ばれ親しまれた伊丹の清酒。それは1799年(寛政11)、博物学者である木村蒨葭堂きむらけんかどうが当時の全国各地の名産を取材して出版した「日本山海名産図会」にほんさんかいめいさんずえにも記されています。全5巻のうち第1巻すべてが伊丹の酒造について書かれているほどで、蒨葭堂による解説文にも「伊丹は日本上酒の始ともいうべし」とあります。

伊丹には、現在「伊丹老松酒造」と「小西酒造」の2つの酒造会社があります。また、10月21日(土)の「伊丹まちなかバル」など、多彩な日本酒関連イベントが開催されます。400年前から愛され続ける伊丹のお酒を、是非とも味わってください。

イベント情報は、伊丹市ホームページ「イベントカレンダー」をチェック!

